

Cisco Unified MeetingPlace Express VT 1.2

Cisco® Unified MeetingPlace® Express VT は、中規模企業内の Cisco Unified CallManager 環境向けの統合型音声、ビデオ、Web 会議ソリューションです。このソリューションは、ポイントツーポイントの音声およびビデオ コミュニケーションをマルチパーティの音声、ビデオ、および Web 会議に拡張可能なリッチマルチメディア会議機能を統合することにより、Cisco Unified Communications ソリューションの効果を強化します(図 1)。

シスコ ユニファイド コミュニケーションにおける音声および IP コミュニケーションの製品およびアプリケーションは、ビジネス プロセスの短縮、適切なリソースの迅速な活用、およびコストの削減と収益性の拡大を支援することで、コミュニケーションを円滑にします。シスコ ユニファイド コミュニケーション システムは、包括的な統合ビジネス コミュニケーション ソリューションに不可欠です。シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、ネットワーク管理の各製品、無線接続、ライフサイクル サービスなどから構成されます。

図 1 Cisco Unified MeetingPlace Express VT により、リモート ユーザが 1 つにまとめられ、効率的なアドホック会議が実現



製品概要

生産性の向上、業務の迅速化

Cisco Unified MeetingPlace Express VT を使用すると、バーチャルな会議機能へのアクセスが容易になるため、業務効率の向上、および意思決定の迅速化が促進されます。このソリューションでは、Cisco Unified CallManager のビデオ テレフォニー機能の拡張によって、ポイントツーポイントからマルチパーティの音声およびビデオ電話への参加を可能にして、Web 会議機能を音声およびビデオ コミュニケーションに容易に追加できるため、電話をかけるだけでビデオを簡単に使用できます。文書の共有化およびマルチパーティ アクセスを対面コミュニケーションと統合することで、分散環境下に置かれた労働力とチームのコラボレーションの質と効率性が強化されます。

容易な展開と管理

Cisco Unified MeetingPlace Express VT を使用すると、高度な会議機能と Cisco Unified CallManager の統合を簡単に低コストで実現できます。Cisco Unified MeetingPlace Express VT は単一サーバにインストールするソフトウェアです。業界標準のプロトコルである Skinny Call Control Protocol (SCCP)、H.323、および Session Initiation Protocol (SIP) をサポートして、さまざまなビデオ エンドポイントとの接続性を保証します。Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、従来のルームベースのビデオ会議およびデスクトップのビデオ テレフォニー環境をサポートすることにより、企業のビデオ投資を最大限に活かします。また、このソリューションは Cisco Unified CallManager と密接に連携しているため、電話番号をダイヤルすればユーザを簡単に接続することができます。Cisco Unified MeetingPlace Express VT では、シンプルな Web ベースの管理インターフェイスで設定を行い、Cisco Unified CallManager への登録が完了すれば、その他の管理サポートはほとんど不要になります。

主な機能と利点

シンプルな音声、ビデオ、および Web 会議

Cisco Unified MeetingPlace Express VT によるマルチパーティの音声またはビデオ セッションは、目的のユーザにダイヤルして、Cisco Unified IP Phone、Cisco IP Communicator、または Cisco Unified Personal Communicator の会議ボタンかマージ ボタンを押すだけで開始できます。会議の出席者は質の高い音声会議を実施することができ、ビデオの出席者は、現在話している人または最後に話した人を見ることができます。

Cisco Unified MeetingPlace Express VT では、Web 会議機能を追加することにより、Cisco Unified Personal Communicator を使用するユーザの音声およびビデオ コールの効率も向上します。Cisco Unified Personal Communicator のユーザはすぐに、Cisco Unified MeetingPlace Express VT で提供されるシンプルな画面共有インターフェイスによってコンテンツを共有できます。

Cisco Unified MeetingPlace Express VT には、音声、Web、およびビデオ の会議機能が統合されており、インタラクティブな会議およびプレゼンテーションに適しています。Web 会議は Adobe の Macromedia Flash テクノロジーで構築されており、確実にすばやく会議に出席できます。また、会議の管理がしやすいようにインターフェイスはシンプルな構成になっており、画面で他のアプリケーションと一緒に表示することも、全画面表示にすることもできます。共有コンテンツは、画面の解像度に合わせて拡大縮小できるため、Web 会議室のウィンドウに常に収めることができます。全画面モードでは、コンテンツを最大表示にできます。Windows、Mac、Linux、Solaris のどのプラットフォームでも、一貫したインターフェイスから Web 会議に簡単に参加できます (図 2)。

図 2 Cisco Unified Personal Communicator を使用した音声、Web、およびビデオのアドホック会議



製品アーキテクチャ

Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、音声、Web および Web のアドホック会議用のソフトウェア ソリューションで、Linux ベースのオペレーティング システムで稼働している Cisco Media Convergence Server 1 台にインストールして使用します。Cisco Unified MeetingPlace Express VT には、次のような機能があります。

- **テレフォニーおよびビデオの統合** — Cisco Unified CallManager とのテレフォニー統合用に SCCP がサポートされています。SCCP、H.323、SIP、および G.711 をサポートする電話およびビデオ エンドポイントは会議に参加できます。ビデオ コミュニケーション用には、H.263 と H.264 がサポートされています。
- **Web 会議へのアクセス** — Web 会議へは、Windows、Mac OS、Linux、および Solaris から標準ブラウザ (Internet Explorer、Safari、Firefox など) および Macromedia Flash Player を使用してアクセスできます。HTTPS および Secure Sockets Layer (SSL) による暗号化アクセスも可能です。
- **ネットワーク管理** — SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) によってアラームおよびモニタリングが可能です。

Cisco Unified MeetingPlace Express VT は内部ネットワーク上に導入します。内部および外部 (音声およびビデオ ゲートウェイ経由) のエンドポイントからアクセスできますが、Web 会議アクセスは、内部ネットワークにアクセスできるユーザのみに限られます。

製品仕様

表 1 に Cisco Unified MeetingPlace Express VT の仕様を示します。

表 1 製品仕様

ハードウェア互換性	<p>Cisco Media Convergence Server</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品番号: MCS-7825-H2-RC1、MCS-7825-I2-RC1、MCS-7825-H1-RC1、MCS-7825-I1-RC1、MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I2-RC1、MCS-7835-H1-RC1、および MCS-7835-I1-RC1 <p>完全に同等のサードパーティ製サーバ (http://www.cisco.com/go/swonly を参照、DVD ドライブが必要)</p>
ソフトウェア互換性 – サーバ	Cisco Linux ベースのオペレーティング システム(システム ソフトウェアに付属)
ソフトウェア互換性 – クライアント	<p>Microsoft Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Windows 2000 Pro (SP2 以降)、Windows 2000 Server Edition (SP2 以降)、Windows 2000 Advanced Server (SP2 以降)、または Windows XP (SP1 以降) ブラウザ: Internet Explorer 5.5 以降、Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 6.0.79 以降 <p>Apple Macintosh</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Mac OS 9.2 * または Mac OS 10.2 以降 ブラウザ: Safari 1.1 以降、Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.2.1 * または 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 6.0.79 以降 <p>Linux **</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Red Hat 9 または Red Hat Enterprise Linux 3 以降 ブラウザ: Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.4 または 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 7.0 以降 <p>Sun Solaris **</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Solaris 9 または Solaris 10 ブラウザ: Netscape 7.1、Mozilla 1.4 または 1.7 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 7.0 以降
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> SCCP H.323 v4 SIP (RFC 3261) G.711 Real-Time Transport Protocol (RTP) (RFC 3550) 『RTP Payload for Dual Tone MultiFrequency [DTMF] Digits』(RFC 2833) Session Description Protocol (SDP) (RFC 2327) IPv4 Lightweight Directory Access Protocol Version 3 (LDAPv3) SNMP バージョン 1、2c、および 3 HTTPv1.1 SSL バージョン 2 および 3 (オプション、Certificate Authority [CA; 認証局] から取得した証明書を提示) Network Time Protocol (NTP) バージョン 3 と 4
MIB	MIB-2、SYSAPPL-MIB、CISCO-CDP-MIB、および CISCO-LATITUDE-MIB
ネットワーク接続および帯域幅	<p>サーバ: 100 Mbps 以上のイーサネット接続 × 2</p> <p>クライアント</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声会議: G.711 では各方向に少なくとも 84 kbps の利用可能帯域幅を必要とします。圧縮コーデック (G.729 など) を G.711 にトランスコードする場合は、これより少ない帯域幅で済みます。 ビデオ会議: 64 ~ 704 kbps (ビットレートに応じて質が向上) Web 会議: 56 kbps 以上のモデム接続 ***

- * Mac OS 9.2 の場合、対応ブラウザは Mozilla 1.2.1 のみです。Mac OS 9.2 からは画面の共有はできません。
- ** このプラットフォームからは画面の共有はできません。他のプラットフォームから共有している画面での表示およびコメントは可能です。
- *** モデムを使用する場合は、利用可能な帯域幅について競合する他のアプリケーションを同時に使用しないでください。

システム容量

Cisco Unified MeetingPlace Express VT では、音声、ビデオ、および Web 会議の機能の多様な組み合わせが可能です(表 2)。会議の最大サイズは、同時ユーザ数にすると音声会議で 40 人、ビデオ会議で 40 人、および Web 会議で 40 人です。システムは、N/2 個の会議に対応できます (N はシステムの容量)。

表 2 システム容量

製品番号	音声会議の容量	Web 会議の容量	ビデオ会議の容量*
MCS-7835-H2-RC1、 MCS-7835-I2-RC1、 MCS-7835-H1-RC1、 MCS-7835-I1-RC1	20 ~ 40 同時ユーザ	6 ~ 40 同時ユーザ	6 ~ 40 同時ユーザ
MCS-7825-H2-RC1、 MCS-7825-I2-RC1、 MCS-7825-H1-RC1、 MCS-7825-I1-RC1	20 ~ 30 同時ユーザ	6 ~ 30 同時ユーザ	6 ~ 30 同時ユーザ

* ビデオ容量は最大 320 kbps ビットレートを想定しています。この最大数を越えると、容量が少なくなります。

機能

音声およびビデオ会議

Cisco Unified MeetingPlace Express VT の音声およびビデオ会議の機能は次のとおりです。

- 最大 3 人の同時発言者のリアルタイム ミキシング
- 音声作動切り替えにより、会議の各参加者に現在の話者を表示
- H.263 または H.264 ビデオコーデックをサポート(システムごと)
- Common Intermediate Format(CIF)ビデオ解像度で 64 ~ 704 kbps のビデオビットレート(会議ごとに 1 つ)

Web 会議

Cisco Unified MeetingPlace Express VT には、次の Web 会議用機能があります。

- 簡単なアクセス — Web ブラウザと Flash Player を使用して、さまざまなプラットフォームから会議に簡単にアクセスできます。
- ファイアウォール対応 — HTTP/HTTPS トンネリング技術により、ファイアウォールに守られた状態で Web 会議に参加できます。
- 接続速度の最適化 — Cisco Unified MeetingPlace Express VT では、ユーザの選択した接続速度に基づく帯域幅に合わせて Web 会議のパフォーマンスが最適化されます。
- 画面の共有 — 画面のリアルタイム共有により、他のアプリケーション、ウィンドウ、またはデスクトップ全体を表示できます。共有用の各種コントロールは、会議室、オペレーティング システム、および共有アプリケーションやウィンドウから使用できます。
- 柔軟な表示オプション — ユーザに最適なさまざまな方法で、共有コンテンツを表示できます。
 - 表示の拡大縮小 — スペースに合わせて、共有コンテンツの表示を拡大縮小させることができます。
 - 表示のスクロール — 全画面表示で収まらない共有コンテンツは、スクロールして全体を見ることができます。

- 全画面表示 — 画面には、共有コンテンツのみが表示されます。コントロールを使用して、参加者全員に対してまたは個人ごとに全画面表示を有効にすることができるだけでなく、参加者自身も全画面表示の切り替えができます。
- コメント — 鉛筆、マーカ、直線、四角形、円、文字、スタンプなどマークアップ ツールを使用して、共有画面で共同作業を行うことができます。コメントの印刷および編集用として、元に戻す、やり直し、色の変更、サイズの変更、移動、削除など、さまざまなオプションがあります。

会議のセットアップと出席

次のような会議のセットアップおよび出席に関する作業は、Cisco Unified MeetingPlace Express VT で行います。

- **音声、Web、およびビデオ 会議のセットアップ** — SCCP ベースのエンドポイントにある会議ボタンまたは MeetMe ボタンを押すと、音声会議およびビデオ会議をすばやく簡単に開始できます。
- **会議のタイプ** — Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、次の会議のタイプに対応しています。
 - **アドホック会議** — SCCP ベースのエンドポイントおよび Cisco Unified Personal Communicator の会議ボタンで開始します。
 - **Meet-me 会議** — Cisco Unified CallManager エクステンションで事前に設定すると、SCCP ベースのエンドポイントの MeetMe ボタンでアクセス可能になります。

運用性

Cisco Unified MeetingPlace Express VT には、会議管理者向けに次のツールがあります。

- **Web 管理センター** — システム設定、メンテナンス、およびモニタリング用のシステム管理機能を備えた Web インターフェイスです。
- **システム設定およびメンテナンス** — システムの設定およびメンテナンスを行うためのパラメータとオプションが数多くあります。
 - **使用に関する設定** — 12 時間または 24 時間表示、言語設定、パスワードの最小長と有効期限、およびアラーム ダイヤルアウトがあります。
 - **コールの設定** — SCCP 設定と登録、ビデオ コーデックとビットレート設定、および IP 音声パラメータがあります。
 - **SNMP の設定** — コミュニティストリングおよび通知の宛先
 - **ライセンス** — ライセンスのインストールと表示
 - **バックアップ** — バックアップとアーカイブ、ローカルおよびリモート設定
 - **SSL 証明書の管理** — SSL 証明書のインストール、有効化、および管理
- **レポートおよびモニタリング** — レポート、モニタリング、およびアラーム用のツールが数多く付属しています。
 - **ディスク使用状況レポート** — ハード ディスクの使用状況と利用可能なスペースに関する詳細情報
 - **メディア統計情報レポート** — 会議メディアに関する統計情報
 - **システム ログ** — モニタリングおよびトラブルシューティング用の各種システム ログ
 - **アラーム** — システム アラームの表示とエクスポート
 - **システム ステータス** — モニタリングおよびトラブルシューティング用のシステム ステータスのスナップショット表示

- **Web 会議インターフェイス用多言語サポート** — 英語(米国)、フランス語(フランス)、ドイツ語、日本語および韓国語に対応

セキュリティ

Cisco Unified MeetingPlace Express VT には、次のセキュリティ機能があります。

- **専用オンネット(On-Net)システム** — 専用の Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムを企業のプライベート ネットワークに統合できます。
- **暗号化** — Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、SSL によって暗号化された Web ページと Web 会議トラフィックに対応しています。

システム要件

表 3 に Cisco Unified MeetingPlace Express VT のシステム要件を示します。

表 3 システム要件

呼制御システム	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager 4.1 以降
QoS (Quality of Service)	<ul style="list-style-type: none"> • 音声トラフィック用 Differentiated Services (DiffServ) (RFC 2474、2475) QoS が有効なネットワーク
音声およびビデオのアドホック会議の開始をサポートするエンドポイント	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Personal Communicator 1.1.3 以降 • Cisco Unified Video Advantage 2.0 以降によってサポートされる Cisco Unified IP Phone モデルおよび Cisco IP Communicator • Cisco Unified IP Phone 7985G モデル • SCCP * を使用したサードパーティ製のビデオ エンドポイント
音声およびビデオのアドホック会議に参加可能なエンドポイント	音声およびビデオ会議を開始できる前述のエンドポイントおよび <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager に登録された H.323 ベースのビデオ エンドポイント • Cisco Unified CallManager に登録された H.323 ベースのビデオ エンドポイント
音声および Web のアドホック会議の開始をサポートするエンドポイント	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Personal Communicator 1.1.0 以降
アドホック Web 会議に参加可能なエンドポイント	Web 会議を開始できる前述のエンドポイントおよび <ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェア互換性 — クライアントにリストされているデスクトップ(表 1)**

* 認定済みサードパーティ製 SCCP ビデオ については、エンドポイント Cisco Technology Developer Program サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/ecoa/Search>

** Cisco Unified Personal Communicator ユーザはこれらのユーザに Web 会議 URL を送信することができます。

発注情報

表 4 に Cisco Unified MeetingPlace Express VT の発注情報を示します。

表 4 発注情報

製品名	製品番号
Cisco Unified MeetingPlace Express VT 1.2 バンドル、20(音声)、6(ビデオ)、6(Web)同時ユーザライセンス	MPE-VT-1=
Cisco Unified MeetingPlace Express VT ビデオ ライセンス パック、4 同時ユーザライセンス	MPE-VT-PLUS4-VI=
Cisco Unified MeetingPlace Express 音声ライセンス アップグレード、20 ~ 30 同時ユーザライセンス	MPE-VT-20TO30-V=
Cisco Unified MeetingPlace Express 音声ライセンス アップグレード、30 ~ 40 同時ユーザライセンス	MPE-VT-30TO40-V=

シスコのサービス

シスコとパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムをサポートするための幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。これらのサービスは、IP コミュニケーション ソリューションの構築、運用、および最適化に効果のある手法を基にしています。たとえば、早期段階に計画サービスおよび設計サービスを活用すると、厳しいスケジュール要件を満たすことができ、導入作業中のネットワークの停止を最小限に抑えます。運用サービスを使用すると、専門家の技術サポートによって通信の中断リスクを軽減できます。最適化サービスを使用すると、ソリューションのパフォーマンスが向上し、運用効率が高まります。シスコとそのパートナーは、耐障害性の高い統合型ネットワークの構築および維持に役立つシステムレベルのサービスおよびサポートを提供し、企業ニーズに対応しています。

関連情報

Cisco Unified MeetingPlace Express VT についての詳細は、以下の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/jp/product/hs/iptel/mpe/>

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0701R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先